

週報 第3175回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・野野 信
幹事 松村 泰英 SAA 櫻井 善章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年9月30日)

■ プログラム

卓話担当 山本 博章 会員
講師 国際東洋医療学院
柔道整復学科 専任教員 村田 景司 様
「東洋医学」

■ 次週のプログラム

10月7日: 卓話担当 藤原 重行 会員

■ 今後の予定

- ・10月14日: 卓話担当 榎本 善夫 会員
- ・10月21日: クラブフォーラム
高寺 壽 米山記念奨学金委員長

■ 祝 誕生日

西端 政博(3日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
おわれて見たのは いつの日か
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

■ 先週の例会



会長の時間

南出 和成 会長

- 森本芳宣ガバナー・北野治義ガバナー補佐公式訪問 御挨拶
- 9月10 中秋の名月について
- 敬老の日について
高齢になると、これから必要なものとして「きょうよう、きょういく、ちよきん」の三つが大切とよく言われますが、ここで言う「きょうよう」は「教養」ではなく「今日用事がある」で、「きょういく」は「教養育む、」でなく「今日行くところがある」で、「ちよきん」は「お金を貯める」ではなく「筋力を維持する」ことの略で老化現象の防止に繋がるため大切なことです。
また、年齢とともに時間をより早く感じるようになると言われています。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3175回

19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャンネは「人生のなかで感じる時間の心理的な長さは年齢の逆数に比例する」つまり50歳の大人の10年は5歳の子供にとって1年に相当すると考える事です。

江戸時代の儒学者、貝原益軒は「教養訓」にも「老後は、若き時より、月日の早き事、十倍なれば、」と書かれております。

このようなことを考えると、大切なことは、年を重ねるごとに時間の重みを感じ、「きょうよう、きょういく、ちよきん」を行い、健康寿命につとめ、長寿を祝ってもらえるように年を重ねて行くことだと思います。

と、ここまでは「敬老の日」に思う長寿の理想的な話ですが、しかし、現在高齢化時代における社会問題も起きてきております。65歳の男性が90歳まで生きる確立は、女性が約60%男性は約40%であり、いまや90代まで生きる人は珍しい存在ではなく超長寿化の時代になっている。ただ、90歳近くになると生活力が衰える人も増えてくる。現在、福祉施設も昔のことを思うと増えてきておりますが、すでに高齢となった子供が高齢の親と同居生活する家族も少なくありません(双方が高齢者という親子の内25%は同居している。)。子供が70代で、親が100歳以上という親子も珍しくなく、「老老介護」「認知介護」も現実の社会問題化している。

また、親子ともに高齢者となると、子供側の老後の設計プランが計算違いとなる可能性が出てくる。これから高齢者になる世代は自分の老後の人生設計だけでなく、「親の老後」についても考えざるを得ない人が増える。

人生100年時代は、親も子も老後の生活が自立できていてこそ成り立つ。

心から「敬老の日」を祝うことが出来る対策が必要である。

ロータリーとしましても、この事に対し今後奉仕の対象になる時がくるのでは、と思います。

以上です。

■ 幹事報告

松村 泰英 幹事

- 来週9月23日(金)は定款の規定により、例会休会となっております
- 地区大会の出欠回答の締め切りが9月22日(木)までとなっておりますのでよろしくお願い致します

■ 委員会報告

- 本日例会終了後、委員会を開催しますので、みやびの間にお集まり下さい。よろしくお願い致します
(今井 克範 職業奉仕委員長)
- ①敬老の日「だんじり祭」と「認知症支援」の講演会がございまして、ぜひご参加頂ければと思います。台風が直撃する恐れがございまして、朝7時の時点で暴風あるいは大雨警報が発令されておりましたら中止とさせていただきますのでよろしくお願い致します
- ②本日例会終了後、社会奉仕委員会をくすの木の間で行いますので委員の方、出席よろしくお願い致します
(川端 徹 社会奉仕委員長)

■ ビジター

ガバナー 森本 芳宣 様(和歌山北RC)
ガバナー補佐 北野 治義 様(和泉南RC)

■ 出席報告 会員数44名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/16	36名	8名	—	83.72%
9/2	36名	8名	2名	88.37%

■ メークアップ

榎本(9/16 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
泉谷(8/19 親睦活動委員会)

■ ニコニコ箱

- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します(南出)
- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します(松村)
- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します(櫻井)
- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します(小門)
- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日はありがとうございます。宜しくお願い致します(山本博)
- ・森本ガバナー、北野ガバナー補佐、御忙しい中、有難う御座居ます(釜野)
- ・お誕生日お祝いありがとうございます。森本ガバナー、北野ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します(西田)

- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・例会欠席のおわび(小野寺)
- ・早退のおわび(藤野)

ニコニコ箱合計	18,000円
累計	191,000円



西田 佳郎 会員 (26日) 小野寺 巧 会員 (29日)

先週のプログラム ガバナー公式訪問「ガバナーアドレス」



国際ロータリー第2640地区 2022-2023年度

ガバナー 森本 芳宣 様

私の年度においても新型コロナウイルスの影響により国際協議会はバーチャル研修となりました(2022.2/7~2/15)

RI会長ジェニファー・ジョーンズさんはロータリーの歴史で初めての女性会長です。

テーマは「イマジン・ロータリー」

~大きな夢をかなえたロータリーを想像して~

また、会長は「ストーリーを発信しよう」と言われています。彼女自身がロータリーの力によって強

力な人脈が出来、年月を超えて世界がつながったストーリーを2つ示されています。

私たちに皆夢があります。

ロータリーのような団体がポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くならそれを実現させる責任は自分たちにある。それは未来を描くことです。

ポリオのない世界、みんなが水を使える世界、疾病のない世界、すべての子供が読むことのできる世界を想像してください。やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ「イマジン・ロータリー」がテーマとなると説明されています。

私はRI会長が示されたテーマのロゴがわかりやすいと思えますので説明します。

このロゴには各所に深い意味が込められています。

「円」は互いにつながっていることを意味しており、「7つの点」は人を表すと同時に、ロータリーの七つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります、その下の太い線はいわゆる「掘

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3175回

り出し棒」でロータリーの会員にとって物事を成し遂げる道具です。

色は、紫は「ポリオ根絶」、緑は重点分野「環境」、白は私たちの中核的使命である「平和」を表しています。

私の基本方針として「行動し実践することにより“ロータリーの輪”を掲げよう。」としました。

私自身世界でいいことをしている人たちの応援をしたいという意識の中で寄付をして10数年経ちましたが行動し実践する事にも力を注ぎたいと思います。しかし、いま世界が七つの重点分野の「平和の推進」「地域経済の発展」「疾病との闘い」「環境」、ほかの3分野にも及ぶと思いますが、コロナウイルスとウクライナ紛争によってロータリーだけでない重点分野になっています。

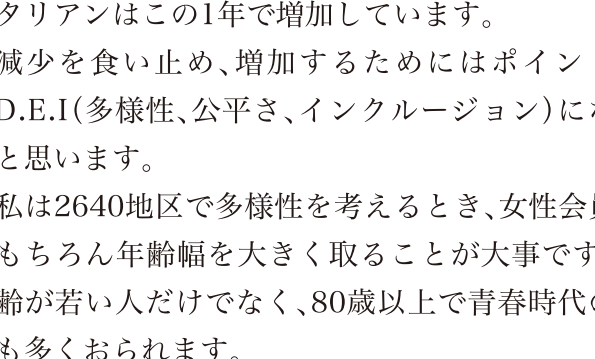
コロナウイルスの終息、ウクライナ戦争終戦による世界平和、物価高騰よりの安定化、脱炭素(環境)社会の再転換はまだ見えませんが、2640地区で私が行動して実践することはまず地区の活性化だと考えます。活性化のためには会員を増強する必要があります。

今会員数が1600人(65クラブ)前後となっております。3年で200人余(1年あたり数十人)減少しています。コロナの影響もあるでしょうが、日本のロータリアンはこの1年で増加しています。

減少を食い止め、増加するためにはポイントはD.E.I.(多様性、公平さ、インクルージョン)になると思います。

私は2640地区で多様性を考えるとき、女性会員はもちろん年齢幅を大きく取ることが大事です。年齢が若い人だけでなく、80歳以上で青春時代の人も多くおられます。

女性も含め幅広い年齢の会員が増強されたクラブが増えることを期待します。



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか